

## 第16期第1回生涯学習審議会の生涯学習施策に 関する意見交換テーマについて

### 【テーマ】

### 共に学び支え合う社会の実現に向けた地域人材の 確保や育成などについて

### 【補足説明】

中央教育審議会教育振興基本計画部会の「次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について(報告)」では、5つある基本的な方針のうちの一つとして、「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」が挙げられている。

その中では、「近年、まちづくり・地域づくりに関する多様な行政分野において、その地域課題の解決に向けて、関係省庁が地域コミュニティに関する政策を提示している。これらの政策は地域コミュニティが維持されてこそ機能するものであり、社会教育の役割が重要」であることや、「地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められる」と指摘されている。

そして、「このため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進など、社会教育の充実による地域の教育力の向上や地域コミュニティの基盤強化を図ることが求められる」と総括している。

このことから、持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や、社会教育人材の養成と活躍機会の拡充などが求められているが、各地域では、「どこにどのような人材(経験・得意分野等)がいるか分からない」という意見があることを始めとして、地域人材の確保や育成などには課題が多い。

また、神奈川県生涯学習審議会の答申「神奈川県におけるこれからの家庭教育支援のあり方」では、家庭教育支援チームの組織化に関し、「行政主導で新たに家庭教育支援チームを組織することはハードルが高い(シニア世代の就労期間の長期化や、地域の住民間のつながりの希薄化など)」との指摘もある。

そこで、地域人材の確保や育成などの諸課題について、どのように対応することが効果的であるかご意見を伺いたい。